

## 「阪神・淡路大震災を風化させない取り組み」について

西日本電信電話株式会社 兵庫支店(支店長 鈴木 勝男、以下、NTT西日本)では、阪神・淡路大震災や東日本大震災における復旧対応などで培ってきた経験と教訓をふまえ、災害時においてもお客様に安心・安全な通信サービスをご利用いただける災害対策に取り組んでいます。

今回、2016年1月17日(日)に阪神・淡路大震災発災から21年目を迎え、更なる防災意識の向上を目的に、「阪神・淡路大震災を風化させない取り組み」を実施します。

### 1. NTT西日本の災害の取り組み

阪神・淡路大震災や東日本大震災の教訓をふまえ、災害時の通信確保に向けた災害用伝言ダイヤル(171)<sup>※1</sup>や災害用伝言板(web171)の提供、公衆電話の無料化、特設公衆電話の設置、及びネットワークの信頼性向上に向けた、津波や洪水などによる浸水に備えた浸水防止対策、停電が発生した場合の予備電源での給電対策など、お客様の通信を途切れさせないよう、災害に強い通信設備づくりを行っています。さらに、今後想定される南海トラフ巨大地震に備え、通信を途絶えさせない災害に強い通信設備の整備や災害対策演習によるノウハウの蓄積等により、万一の時でもお客様に安心・安全なサービスをご利用いただける防災に強い通信サービスの提供に努めていきます。

※1 災害用伝言ダイヤル(171)はNTTコミュニケーションズが提供するサービスですが、実際の災害発生時には、災害の発生地域等に応じて、NTT東日本およびNTT西日本がそれぞれ運用します。

### 2. 兵庫県立舞子高等学校とのジョイントイベントの開催

「体験学習 NTT西日本の災害の取り組み」について体験していただきます。

- (1) 日時 : 2016年1月28日(木) 14:20~16:30
- (2) 会場 : NTT神戸中央ビル1F・駐車場
- (3) 参加者 : 兵庫県立舞子高等学校環境防災課の在校生
- (4) 体験内容 : 災害発生時にNTT西日本が取り組む復旧活動の「Ⅰ. 被災調査」「Ⅱ. 救援活動」「Ⅲ. 復旧工事」を、想定した被災内容をもとに実際に災害対策機器等に触れて体験していただきます。

#### Ⅰ. 被災調査

災害時における被災地の状況を遠隔地にあるオフィス等へ正確に伝えるため、メガネデバイス等を活用した遠隔地との映像情報の共有や、地図情報マネジメントシステムを使用した位置情報付きの現地写真の共有<sup>※2</sup>を体験していただきます。

※2 本システムでは、現地で携帯電話により撮影したGPS 情報付写真を、社内専用メールアドレスに送信することで、本システム上で現地の画像や位置情報を確認できます。

#### Ⅱ. 救援活動

災害時に通信が利用できない場合、情報伝達手段としてWi-Fiによるインターネット環境の提供やポータブル衛星装置を設置し通信を確保するとともに、情報伝達手段としての災害用伝言ダイヤル(171)及び災害用伝言板(web171)の体験訓練を行います。

### Ⅲ. 復旧工事

災害発生により光ケーブルが断線したことを想定し、光ケーブルの融着接続を体験していただきます。

\* 詳細は、[別紙「体験学習 NTT西日本の災害への取り組み」](#)をご参照ください。

## 3. NTT 神戸中央ビルでの各種展示について

### (1) 阪神・淡路大震災当時のパネル展示

阪神・淡路大震災の被災状況や、当時NTTグループが取り組んできた復旧活動の様子について、写真でご覧いただけます。

- ① 日時 : 2016年1月12日(火)～2月19日(金)午前
- ② 会場 : NTT神戸中央ビル1Fロビー
- ③ 展示内容: 阪神淡路大震災の被災状況と復旧活動におけるパネル展示

### (2) 災害対策機器の展示

復旧活動で実際に使用する災害対策機器を展示し、災害時においてもお客様に安心・安全な通信サービスをご利用いただける災害対策の取り組みを紹介します。

- ① 日時 : 2016年1月27日(水)午後～1月29日(金)午前
- ② 会場 : NTT神戸中央ビル1Fロビー・東側駐車場
- ③ 展示内容: 災害時に復旧活動で使用する災害対策機器の展示  
(小型ポータブル衛星車、通信レスキュー車、11P衛星アンテナ、メガネデバイス等)

ニュースリリースに記載されている内容は、報道発表時のものです。

最新の情報と内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。